

科目名	重複・発達障害者の心理と教育		担当教員	谷 浩一	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SSR314
期待される学修成果	教科教育 子ども理解				
アクティブラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	特別支援学校での勤務経験を生かして、実際に行われている実践や配慮を具体的に紹介し、教育的効果や配慮事項を検討を進める。				
到達目標及びテーマ	<p>重度・重複障害や発達障害の概念や対応する教育課程を学び、自立活動のねらいをふまえた学習活動を考えることができる。重度・重複障害や発達障害を有する幼児児童生徒の心理やコミュニケーションの特性を理解することができる。子どものコミュニケーション能力の育成や、行動問題（問題行動）の軽減、一人一人の自立と社会参加に向けた教育のあり方等について学することができる。</p>				
授業の概要	<p>重度・重複障害教育及び発達障害教育、教育の内容・方法、発達課題等に応じた教育の在り方等について解説するとともに、VOCAの使用方法や行動問題（問題行動）改善に向けての支援計画作成の実習等も実施する。</p>				

授業計画	
第1回	<p>肢体不自由児の特性と指導 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第1章</p>
第2回	<p>重度・重複障害児の特性と指導 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第2章</p>
第3回	<p>重度・重複障害児の教育課程と自立活動の指導 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第3章</p>
第4回	<p>医療的ケアの指導 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第4章</p>
第5回	<p>重度・重複障害児の食事（摂食）指導 自立活動の主な専門的指導法 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第2章</p>
第6回	<p>難治てんかん児の指導 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第6章</p>
第7回	<p>在宅訪問教育児の指導例 交流教育 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第8章</p>
第8回	<p>授業づくりの視点 教材教具 授業研究 「重度・重複障害児の教育」（大学教育出版）第2章</p>
第9回	<p>発達障害の概要（自閉症・学習障害・ADHD・アスペルガー症候群） ※教員が資料を用意する</p>
第10回	<p>環境の構造化 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第2章（P92）、第3章（P114、P116、P120、P136、等）</p>
第11回	<p>スケジュールの構造化 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第2章（P50、P68、P96、等）、第3章（P124、P146、P148、等）</p>
第12回	<p>他者との関係づくり（コミュニケーション） 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第2章（P76、P78、P80、等）、第3章（P122、P132、P154、P158、等）</p>
第13回	<p>他者との関係づくり（ソーシャルスキル） 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第2章（P64）、第3章（P162、P164、P166、P170、等）</p>
第14回	<p>行動問題（問題行動）改善のためのABC分析（実習） 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第2章（P74、P84、P86、P102）、第3章（P118、P120、P130、等） ※教員が資料を用意する</p>

第15回	教師と関係諸機関（含、保護者）との連携 「発達障害の子どもたちをサポートする本」（ナツメ社）第1章（P40、P42、P44、等）、第5章（P222、等）
------	---

事前学修	2時間	関連する内容について、教科書のみならず図書館等で情報収集を行い、基本的な用語や概念について予習しておく。
事後学修	2時間	様々な実習機会やボランティア活動などを通して、本人や保護者とのかかわりを深め、授業で学んだことを確認したり、さらなる課題をみつけ、深めていく。
フィードバックの方法	数単元毎の小テストの実施と、その解答の解説を丁寧に行う等、個別的に評価を重ね、学習意欲を高めていく。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	20%	授業中の質疑応答の態度や内容を評価する
定期試験	50%	100点満点で60点以上
上記以外の試験・平常点評価	30%	授業の内容に沿って数単元毎に小テストを行い評価する
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特別支援学校における重度・重複障害児の教育[第4版]	姉崎弘	大学教育出版	978-4-86692-021-4	本授業の前半に使用
発達障害の子どもたちをサポートする本	榊原洋一	ナツメ社	978-4-8163-6129-6	本授業の後半に使用
参考資料	授業担当教員が適宜用意する。			